

取扱いの趣旨

歯周病検査の実施がない場合であっても、歯肉炎（G）の診断は可能であることから、「G」のみで歯周病検査の算定がない歯科衛生実地指導料の算定は原則として認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【医学管理等】

《平成24年8月27日》

11 歯科衛生実地指導料②

○ 取扱い

原則として、初診月において、「G」病名のみで歯周病検査の算定がない場合であっても、歯科衛生実地指導料の算定を認める。

○ 取扱いを定めた理由

歯周病検査の算定がない場合であっても、G病名の診断は可能であることから、歯肉炎に罹患している患者に対する歯科衛生実地指導料の算定は認められる。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

歯科衛生実地指導料を算定しているレセプト 1 万件当たり、条件（初診月においてG病名のみで歯周病検査の算定がなく、歯科衛生実地指導料を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯科衛生実地指導料が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

| | | | |
|------------|------------|----|----------|
| 請求どおり | | | : 取扱いどおり |
| 査定 審査委員 | 査定 職員契機 | 返戻 | : 検証が必要 |

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 0.01%
- 検証を必要とする支部 5支部

| 検証観点 | 特に検証を要する支部 | 備考 |
|--------------|---------------------------------------|--------------------|
| 査定・返戻割合が高い支部 | 山梨、埼玉、愛媛、東京、大阪 | 査定・返戻割合の高い順 |
| 査定・職員契機 | — | 対象 1 万件当たり査定件数の多い順 |
| 査定・審査委員 | — | 〃 |
| 返戻 | 山梨、埼玉、愛媛 | 対象 1 万件当たり返戻件数の多い順 |
| 該当件数（全国） | 初診月においてG病名のみで歯周病検査の算定がなく、歯科衛生実地指導料を算定 | 110,277件 |
| 取扱いに基づく審査 | 請求どおり | 110,262件 |
| 検証を必要とする審査 | 査定・返戻の計 | 15件 |

事例11 「G」のみで歯周病検査のない歯科衛生実地指導料の取扱い

【認める事例】

